

教科名	芸術	科目	書道 I	単位	1 単位
-----	----	----	------	----	------

担当者 神戸雅史

1. 教科書および副教材・参考書

書 I (教育図書)

2. 授業の目標および内容

3 年次「書道 I」では「漢字の書」「仮名の書」「漢字仮名交じりの書」を学習します。

「漢字の書」では行書の古典の臨書を中心に行います。「風信帖」を扱う予定です。

それぞれの古典の特徴を捉え、多様な表現方法を習得することを目標とします。

「仮名の書」では「蓬萊切」「高野切第三種」の臨書を行います。

「漢字仮名交じりの書」では「蘭亭序」をベースにしたもの、「蓬萊切」をベースにしたもの、それぞれの作品制作のあとに好きな言葉を書きます。

また、作品制作を通して感性や発想力を高めていきたいと考えています。

臨書・創作ともに自己評価・相互評価・授業者の評価など様々な角度から自己の作品を分析し、次の作品へとつなげていきます。

また、他者の作品や古典・古筆を鑑賞することで鑑賞の基礎的な能力も高めていきます。

書写と書道の違い、書体の変遷、文房四宝などの用具・用材、中国書道史、日本書道史にも触れることで、様々な角度から「書道」への興味・関心を高めていきたいと考えています。

全国書道展（岐阜女子大学主催）、和洋女子大学競書大会、全国書道展（大東文化大学）にも出品する予定です。

3. 試験について

	1 学期		2 学期		3 学期
定期試験	一次 なし	二次 なし	一次 なし	二次 なし	期末 なし
学力試験	第 1 回 なし		第 2 回 なし		第 3 回 なし

内容・難易度について

①定期試験：なし

②学力試験：なし

4. 課題・補習について

書道系の大学への進学を目指す生徒や書の力を高めたい生徒に関して、希望に応じて始業前や昼休み、放課後に、添削や補習を行います。また、授業内で応募するコンクールについても希望する生徒に関しては授業以外にも添削指導を実施します。

5. 評価の視点

制作過程と作品、授業内テストを中心に評価します。

用具類の忘れ物や授業に対する姿勢などと総合して評価します。

授業計画

学期	単元	学習内容	備考
1	三筆と三蹟について 行書 仮名の成立について 仮名の書	三筆と三蹟について、文化の国風化等を学びます 行書の古典の臨書 ・空海「風信帖」 平仮名や変体仮名の違いについて等を学びます。 仮名の古筆の臨書 ・伝藤原行成「蓬萊切」	授業内テスト実施 【1学期 提出作品】 1 風信帖 臨書 2 蓬萊切 臨書
2	仮名の書 漢字仮名交じりの書	仮名の古筆の臨書 ・伝紀貫之「高野切第三種」 古典をベースとした漢字仮名交じりの書 ・王羲之「蘭亭序」をベースに ・伝藤原行成「蓬萊切」をベースに 好きな言葉を今まで学んだことを意識して効果的に色紙に書く	授業内テスト実施 【2学期 提出作品】 1 高野切第三種 臨書 2 蘭亭序ベース 3 蓬萊切ベース